

令和6年度 比内支援学校かつの校運営の重点
「安全・予防対策と充実した教育活動の両立」～若さを強みに変えて～

「安全で明るく楽しい学校」 「地域を笑顔と元気にする学校」 「子どもの夢を叶える学校」

◎学校経営の重点

1 地域と共に育ち、地域に感謝される学校づくりの推進

- (1) 豊かな自然環境や地域の優れた人材（アップルサポーター）等を活用した教育課程を編成し、児童生徒一人一人の可能性を引き出す。
- (2) 交流及び共同学習をはじめ、地域学習を年間指導計画の中心に据え、充実した体験活動を通して、児童生徒の「本物の力」を育成する。
- (3) 地域のニーズと児童生徒のやりたいを重ね合わせた地域貢献活動を計画し、児童生徒の自己肯定感や地域における存在感を高める。

2 子どもの思いや保護者の願いに応える教育活動の展開

- (1) 人権の尊重を基盤に、「おだやかに、ゆるやかに、ていねいに」を指導の基本として、児童生徒の発達を支えるとともに、日々学習評価や授業改善を通して、教師の指導力及び専門性の向上を図る。
- (2) 児童生徒の思いや保護者の願いを十分に受け止めるとともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、創意工夫のある体験的、実地的な学習を展開する。
- (3) 学習指導要領の基本的な考えを踏まえながら、ICT機器等を有効活用するなどして、令和の時代に求められる児童生徒の資質・能力を育成する。
- (4) 児童生徒が希望する進路の実現を目指すために、キャリア教育全体計画に基づいて小学部段階から働く力の育成を目指した進路指導や実践的職業教育を実践するなど、早期からのキャリア発達を支援する。
- (5) 主体的に取り組める部活動を計画し、目標に向かって互いに認め合い、励まし合い、協力し合いながら、生徒の自主性や協調性、連帯感を育成する。

3 児童生徒の安全安心と健康な生活の確立

- (1) 児童生徒が遭遇する様々な災害・危険等を想定して危機管理マニュアルを策定・改善するとともに、児童生徒が安全に行動できるための訓練の継続と保護者や地域、関係機関と連携した安全教育、防災教育を推進する。
- (2) 一人一人の児童生徒の的確な実態把握に基づいた「指導すべき課題とねらい」を明確にし、具体的な指導内容を設定したり、外部専門家と連携したりして自立活動の充実を図る。
- (3) 「正しく怖がり、正しく備えをする」を合言葉に、マニュアルを基に感染防止や熊対策に努めるとともに、児童生徒が自ら対策を実践できるよう計画する。

4 特色ある教育活動と魅力ある学校づくりの推進

- (1) りんごの活動、全校清掃や体力づくり等、小規模校の特色を生かした全校縦割り活動に取り組み、憧れや思いやりの心を育成する。
- (2) センターの機能や地域の研究会と連携した研修会等を通して、地域の園や学校の「自校解決力」を高めるとともに、全職員が動く広告塔となり、かつの校の魅力を伝え、障害理解教育を推進する。

◎目指す教師像

- 1 自分の得意分野を磨き高め、絶えず学び続ける教師
- 2 子どものよさを引き出し、伸ばすことができる教師
- 3 保護者、地域の人々から信頼され、親しまれる教師
- 4 「不祥事を起こさない！！」強い意志をもった教師